

自治連だより

第8号

平成二十一年度

全国自治会連合会鳥取大会の概要報告

鳥取大会準備委員会 委員長 大久保 良 隆

決意を新たに



会長 池原 範雄

平成二十二年の新年を、心からお祝い申し上げます。

さて、昨年の全国自治会連合会鳥取大会は、全国各地から九百余名にのぼる同志・諸賢を迎え、盛会裡に終了することができました。

大会の成功に向けてご尽力いただいた、関係機関並びに関係各位に深く感謝申し上げます。

ありとうございました。大会の目的は、住民自治の拡充に向けた研修と組織間交流の他、開催地鳥取県の魅力を提供することでもありました。多くの参加者から高い評価をいただいたことは、望外の喜びであります。

ともあれ私たちの使命は、住民の多様なニーズに、的確に対応できる力を高めることでもあります。

鋭意取り組んで参りますので、今後ともご指導・ご協力をお願いいたします。

晩秋にしては珍しい温暖な日和に恵まれた鳥取市において、昨年十一月五日(木)午後一時三十分より、とりぎん文化会館梨花ホールを会場として、全国自治会連合会に結集する四十七都道府県の役員等関係者約九百余名が集い、多くのご来賓のご臨席のもとに鳥取大会が盛大に開催されました。

本大会は、全国自治会連合会が毎年度全国各地を持回りで開催しているもので、今回は鳥取自動車道の開通を記念して、全国自治会連合会と鳥取県自治会連合会が主催し、総務省・鳥取県・鳥取市の後援で開催したものです。

大会は四部構成で進められ、第一部の大会は、鳥取県連の池原実行委員長の開会のことばで始まり、全国自治会連合会の兼松会長のあいさつに次いで、開催地の平井鳥取県知事及び竹内鳥取市長からそれぞれ丁寧な歓迎のおことばを

いただきました。

引き続き内閣総理大臣のメッセージ披露の後、全国自治会連合会表彰に移り、住民自治の振興発展に功績のあつた六十七名の方々に表彰状が授与されました。

続いて大会宣言が全会一致で採択され、藍綬褒章受章者(十名)の紹介の後、次期開催地大分県(日田市)代表による大会受託の力強い決意表明をもって第一部は閉会しました。

第二部の講演会は、鳥取市教育委員会委員長の「柴山抱海氏」を講師にお迎えし、「一隅を照らす」との演題で聴講しました。

第三部「協働のまちづくり実践報告会」では、先進地域である「若葉台地区まちづくり協議会」の福井正樹地区会長からまちづくりの実践事例の報告があり、全国へ向けた貴重な情報発信ができました。第四部の交歓会は、とりぎ

ん文化会館からホテルニューオータニ鳥取へ会場を移しての開催となりました。

交歓会は、参加希望者が多くて、会場の「鶴の間」に入りきれずロビーも使用した会場設営となりましたが、和やかな雰囲気の中で大いに盛り上がり盛会裡に閉宴することができました。

アトラクションにご出演いただきました「因幡の傘踊り」「関金さいとりさし」「淀江さんこ節」の皆様にご心より感謝を申し上げます。

終わりになりましたが、昨年七月から「おもてなしの心」をキーワードに、本大会の準備・運営に汗を流していただきました、実行委員・準備委員及び協力者(地区会長)の皆様へ深く感謝し鳥取大会の概要報告とします。



全国自治会連合会 会長 兼松 久和

岡山県

全国自治会連合会 鳥取大会を振り返って



昨年十一月五日「鳥取自動車道開通記念」全国自治会連合会鳥取大会が二〇〇九鳥取・因幡の祭典に呼応して開催され全国各地から同志、九百有余が一堂に会し近來稀に見る活気に満ちた「盛大な大会」であったことに深い感銘を享けています。

大会は池原範雄実行委員長（鳥取県自治会連合会会長）の開会の辞に始まり、厳肅な内にも滞りなく式典を終了いたしました。

講演会の演題「一隅を照らす」や協働のまちづくり実践報告では、時宜を得たテーマを設定され、向後の自治会活動の糧になることと思えます。交歓会では、方々で活発な情報交換が行なわれ壮観でありました。

また、鳥取市では、竹内市長の包括的住民自治組織である自治会への深い理解のもと「市民と行政の協働のまちづくり」が有効適切に推進され、この分野では全国の範たるに相応しい事業であると思料されます。

おわりに、鳥取大会の開催にあたり総務省鳥取県、鳥取市のご高配と鳥取県自治会連合会、鳥取市自治連合会並びに関係各位のご尽力に対し衷心よりお礼申し上げます。

香川県連合自治会 会長 河田 澄
(高松市自治会連絡協議会)

香川県

全国自治会連合会 鳥取大会に参加して



このたび、全国自治会連合会鳥取大会が盛会裡に開催され、池原会長をはじめ本大会の準備や運営にあたられた関係者の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

大会の印象として、まず、第一部の式典は、全体的に厳かに進められる中で、特に地元鳥取県の平井知事様、鳥取市の竹内市長様の歓迎のご挨拶には、地域住民とともに、新しい町づくりに取り組む意欲が強く感じられました。

また、被表彰者の皆様には、兼松会長が表彰状を直接手渡され、感謝の気持ちがひしひしと伝わってきました。

第二部「一隅を照らす」と題した講演は、講師の書道家としての奥ゆかしさが感じられ大変感銘を受けました。

第三部の実践発表は、配布のパンフレットに示された通り、住民と行政が互いに協力して取り組んだ成果の発表であり、参考になりました。

場所を変えての交歓会は、傘踊りなど多彩な地元芸能の発表があり、歓迎される皆様の温かい心が伝わり、参加者との交流も大いに進み有意義な会であったと思います。

鳥取市自治連合会の皆様とは、引き続き交流できる機会をつくり、住民福祉の向上のために努力したいと考えています。

賀露西浜ニュータウン

住宅地分譲中!!

最多販売価格帯 800万円台

かにっこ館
隣接

100区画

お
合
せ
先鳥取市賀露西浜土地区画整理組合
理事長 小林 増夫
☎ 0857-28-3596温かい笑顔とおもてなしの心で
お待ちしております。宿泊・宴会・婚礼・会食など
幅広くご利用くださいませ。

The New Otani

ホテル ニューオータニ鳥取

鳥取市今町 2-153 TEL(0857)23-1111(代)
<http://www.newotani.co.jp/group/tottori/>

全自連 「鳥取大会」に参加して



鳥取大会に参加した三日間は、十一月と思えない温かい好天の中で、暫くぶりの鳥取を満喫して帰って参りました。

大会第三部の協働のまちづくり実践報告会【「まちづくりWAKABADA」】若葉台がめざすものの中で、要援護者支援のツールとしてGISを構築して活用する手法が紹介されていましたが、仙台市でも「災害時の要援護者の仕組みづくり」を各町内会に呼び掛けており、情報共有で大変有効な手段であり、参考になるものと思っております。

また、初めて「砂の美術館」を観覧しましたが、せっかく作って壊してしまうのは勿体無い！像を固めて毎年保存して行けば一大美術館として年間観覧出来るようになりますが如何でしょうか。

三日目に定番コースの「鳥取砂丘」、「きれいなラッキョウの花畑」を見せて頂き帰って参りました。

大会に関係されました皆さん、本当にご苦勞様でした。

万全の受入れ体制で 鳥取大会大成功



先ずもって鳥取大会のご成功を心よりお祝い申し上げます。
これもひとえに、万全の受入れ体制で開催地の

役目を果たされた、鳥取県自治会連合会の池原範雄会長はじめ、関係者のご努力の賜と衷心より敬意と感謝を表する次第です。

全国大会の流れそのものは従前のように、大会、講演会、実践報告、交歓会の四部構成で運営されましたが、参加者は全国から九百余名。そのうち半数近くの四百五十名位が鳥取の方々と推計されました。このことは、日頃「全国自治会連合会」に触れる機会のない方々が、立派な会場に全国の地縁組織の関係者を受入れ交流されたことは、大きな体験として厳しい環境のもとでの自治会活動に、弾みがつけられるものと期待いたします。

とにかく大変で苦勞をおかけし、お世話になりました。誠に有難うございました。

鳥取県自治会連合会の益々のご発展と、皆様のご健勝ご多幸を心から祈念申し上げます。

謹賀新年

印刷技術で、人と自然が調和する
地域社会に貢献します

総合印刷出版株式会社

イロライナツ 0120-160132

〒680-0022 鳥取市西町1丁目215番地(日赤前入る)
TEL 0857(23)0031(代) FAX 0857(23)0039

湖山池の風情に抱かれた 寛ぎの霞の里温泉



ご宿泊・ご宴会承ります。



とっとり県観光コンベンション
レーク大樹

鳥取市金沢6番地
TEL(0857)57-0301
鳥取駅より車で15分
www.lakedaiju.jp



開会を宣言する池原会長



全国自治会連合会 兼松会長



祝辞／総務省自治行政局行政課
管野孝志総務室長



歓迎あいさつ／竹内鳥取市長



歓迎あいさつ／平井鳥取県知事



藍綬褒章受賞者を代表してあいさつ／森西前会長



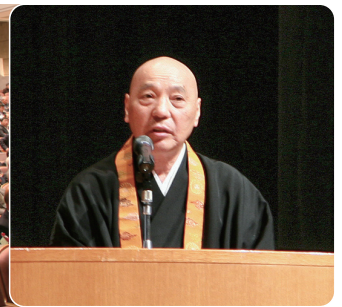
表彰式／兼松会長より全員に授与



実践報告／福井正樹氏



会場を埋めつくす参加者



講演会／柴山抱海氏



交歓会／和やかに歓談



“鳥取のおみやげ” 売場

ロビー受付

全自連鳥取大会を
振り返って



新年あけましておめでとうございます。昨年開催された「全国自治会連合会鳥取大会」では、池原会長様をはじめ鳥取市自治連合会の役員並びに会員の皆様のご尽力をいただき心より感謝申し上げます。この大会は、鳥取自動車道開通記念、二〇〇九鳥取・因幡の祭典の開催と相まって盛大で印象的でした。

特に、鳥取市教育委員長、柴山抱海氏の人としての示唆に富んだ講演や、若葉台地区自治会長、福井正樹氏の新興自治会が取り組む行政との協働のまちづくりの実践発表は、非常に内容が深く感銘し、地域活動においても一つの大きな指針となると感じました。交流会では、鮮やかに躍動感が伝わる「因幡の傘踊り」などの鑑賞や歓談を通じ、更に交流の輪が広がり、絆が強まったように思われます。今後共、お互いに情報交換をし、協力しあいながら、自治会活動を推進してまいります。最後に、鳥取市自治連合会の皆様の一層のご活躍とご健勝を心よりお祈りしております。

「全国自治会連合会鳥取大会」
に参加して



第二部の講演と第三部の協働のまちづくりの実践報告会を聞き、日本中で叫ばれている協働の参画社会の実現は極めて重要な課題であり、行政と地域が真剣に取組まなくてはいけない事であることを、強く認識いたしました。

特に第三部の協働のまちづくりは、我々の地域においても真剣に取組む必要があります。これらは地域の特性や問題点を把握し、行政が出来る事と地域が出来る事を区分して、それぞれからの代表者によって検討する場を設定する等、一歩を踏み出すことが必要だと思います。

大会宣言に述べられていますが、実現するためには、強力な組織化・実行力のある人材の登用があつて始めて実現出来るのではないかと思います。これを契機に、自分に何が出来るかを考えてみたいと思う次第であります。

「木の香る」・エコ住宅

県産材を使用 人に優しい エコ住宅

鹿野町湯川住宅団地 展示住宅9棟 H22年7月完成
8月30日・31日 完成見学会開催

展示住宅のお問い合わせ先
財団法人鳥取開発公社 TEL 0857-22-4742
URL <http://tottori-kk.or.jp>
e-mail tott11@tottori-kk.or.jp

分譲地のお問い合わせ先
鳥取市土地開発公社 Tel. 0857-22-4742
区画 30区画 面積280㎡～ 価格 800万円～

温泉給湯可

視察研修報告

広報委員会 委員長 久林 肇



新居浜市／佐々木市長

自治会活動の先進地を視察して、地域の充実と発展を図る目的で、昨年七月二日から三日まで、会長ほか三十名（地区会長二十八名、事務局二名）が、平成十六年度の大聖台風による災害復旧を契機に、行政と自治会が連携を深め、協働による安全・安心なまちづくりを実践している新居浜市連合自治会を視察しま

した。

研修は、七月二日午後一時三十分から、新居浜市役所五階大会議室において行なわれ、新居浜市連合自治会長、役員十一名、事務局三名が出席しました。

来賓として出席された新居浜市長及び両自治会長の挨拶に続き、双方の自治会組織、事業計画等を確認して情報交換の後、自治会活動状況について質疑応答が、熱心かつ活発に交わされました。

研修内容の主な概要は、平成十六年の台風による災害復旧の経験から、行政に頼らない自治会活動を推進していくために、行政と協働して市民一人ひとりが主役となった住民自治による安全・安心の「まちづくり」を目指して、（一）平成十七年、十八年で自治

会に自主防災会を設立。

（二）防犯対策のため、自治会パトロール隊を結成して、青パトロールで全校区を巡回（三）行政主導の「市政懇話会」を「まちづくり校区集会」

に改め、各校区で設定した市政課題や地域課題の他、連合自治会で設定した課題等について行政と自治会が意見交換。

（四）自治会加入率は、社会情勢の変化で減少している。加入促進活動を継続しないと現状では衰退する、加入促進委員会を設けて広報活動に努めている。



研修風景



松山城にて

限られた時間を超過して、有意義な研修を終わりました。自治組織のみで比較することは困難ですが、災害を教訓に英知を結集して自治会活動に積極的に取り組み、行政との協働による住民自治を目指して努力されていることを強く感じた研修でした。

去る、十一月五日開催の、全国自治会連合会鳥取大会は、九

百余名の参加者をお迎え、すばらしい成果を残して大成功裡に終りました。

し上げます。

これも偏に、開催地決定から尽力してこられた

関係者及び会員皆様からの暖かいご支援とご協力によるものと思えます。

今号は、二頁増刷して全国自治会連合会の兼松会長及び役員から、大会記事を特別に寄稿していただきました。厚くお礼申

編集後記

新居浜市視察研修で、佐々木市長様の挨拶が印象に残っています。「まちづくり」は、やるせる、やってやると云うことではなく、行政も責任をもち両者信頼関係のうえにたつて推進している。

同市連合自治会の安全・安心のまちづくりは、災害復旧の教訓から一人ひとりが主役の「住民自治」でありました。

鳥取大地震や大火災から半世紀以上経過しました。災害対策は、自助、共助、公助と言われています。― 災害は忘れた頃にやってくる ―